

横浜市青少年指導員
シンボルマーク

みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会



全市一斉統一行動パトロール



7月24日(土)に、青少年を取り巻く社会環境健全化活動の推進に資するため、全市一斉統一行動パトロールを実施しました。青少年の非行・被害防止全国強調月間が7月にあることから毎年7月に市全体で取組んでいます。小中学校の先生方や地域の方々と共に、コロナ感染拡大防止対策を行いながら青少年の集まりやすい場所や地域ごとの環境に応じたポイントを中心にパトロールを行いました。

永田中学校区 (永田みなみ台地区)

さる7月17日(土)他地区より一足先に永田みなみ台地区の全市一斉パトロールが行われました。

6月25日(金)に、この日のパトロール開催が決まり、慌ただしいスケジュールにもかかわらず、地域の安全推進の会、自治会の役員方、永田中学校・永田台小学校の先生方、同PTA役員の方々、外部団体の方々など53名に上る皆さんに参加していただきました。

当日はコロナ禍のためソーシャルディスタンス等に気を付け、3つのコースに分かれ地区内をパトロールしました。

同地区および周辺にはコンビニ等夜間営業している商業施設はほとんどなく、学校周辺や公園、地区内道路を中心にパトロールを行い、結果として異常や問題はありませんでした。

参加した皆さんから、夜間のパトロールだからこそ日中では気がつかなかった場所、気を付けたい点を知ることが出来たと感想をいただきました。(伊東)



南中学校区

南中学校区では7月24日(土)に六ツ川、井土ヶ谷、南永田・山王台、本大岡の4地区合同によるパトロールが行われました。夜8時に南中学校に集合し、先生よりお話を伺った後、各方面へパトロールを開始しました。公園、神社境内や商店街等人的集まりそうな場所を注意しながら行いましたが、オリンピックも開始されたことや新型コロナウイルス対策として、まん延防止等重点措置がとられていることもあり、人通りも少なく、青少年がたむろしている様子も見られませんでした。暑い夜でしたが、無事、パトロールを終えることが出来ました。

(内田)



41st VOICE OF YOUTH

青少年の主張

2021年に入っても新型コロナウイルス感染症は、拡大の一途をたどり何回かの緊急事態宣言を繰り返し、時短営業・他県への移動・大規模イベント等が中止の中でもワクチン接種が進み、少しずつ日常生活に向って進んでいる状況の中、今回も無事に子どもたちの作文の募集と選考を行う運びとなりました。

令和3年度のボイス・オブ・ユースは昨年同様のコロナ禍での開催でしたが、今回は応募作品の全員選考会は中止になり、一次・二次の選考を各地区で行う形式に変更となりました。昨年は表彰や作文の読み上げは感染防止という事で見送られましたが、今年は会場のみなみんながワクチン接種の為に使用する事が出来ず、中止となりました。

来年は通常の状態に戻っているかわかりませんが、子どもたちがマスク無しで作文を元気に読み上げている姿になっている事を願います。



お三の宮地区選考会

お三の宮地区では9月12日(日)に度重なる緊急事態宣言発令と感染者数の増加傾向により、青指メンバーが集まりにくい中で例年と違う手法でボイスオブユースの一次選考と地区選考を同時に実施することになりました。

このような状況下の中で比較的、文章をゆっくり且つ流れよく選考することが出来たと思います。東京で開催されたオリンピックを題材に貴重な瞬間を映し出した文章で開会式や閉会式、各オリンピック種目、パラリンピック、オリンピックに携わるボランティアの方々等、様々な視点で現在の中学生の感性が表現されていて生徒各々の気持ちが伝わる内容がたくさんありました。

コロナというワードがある中で歓喜や感動、希望や期待が文章から伝わった地区選考会になりました。(岡田)



第41回 ボイス・オブ・ユース審査経過報告

- ◆募集期間 令和3年8月2日～9月3日
- ◆テーマ ①オリンピック・パラリンピック
②長引くコロナ禍で思うこと
③自由課題
- ◆作文応募数 1,627編

第41回 ボイス・オブ・ユース応募・入選作文総括表

	応募数	入選数
小学生	595 編	25 編
中学生・高校生・一般	1,032 編	35 編
合計	1,627 編	60 編

●全市統一行動キャンペーン活動

例年ボイス表彰式と同日に行っている、全市統一行動キャンペーン活動については、チラシ等の配布は行わず、各地区でのチラシの掲示をしていただくこととなりました。

大岡地区選考会

大岡地区では9月11日(土)に青指7名中6名が別所地域ケアプラザ会議室に集まり、選考を行いました。今年は新型コロナウイルスの影響で全員選考会がなかったこともあり、これまでも増して青指一人ひとりが作品と丁寧に向き合い選考しました。私たちが担当したのはオリンピック・パラリンピックをテーマとした中学1年生の作品61編で、題材・主張・表現の選考基準をもとに評価をつけました。

どの作品も中学生らしい視点でオリンピックの感動や自らの考えを伝える力作でしたが、中には着眼点や知識、文の構成力などが抜群で選考を担当した3人だけでなく参加した青指全員が思わずうなってしまう大人顔負けの素晴らしい作品もありました。

最後になりますが、ボイス・オブ・ユースの選考会で作品を読ませてもらうことは、現代の子どもたちの感性や考えに触れることが出来る貴重な機会だと改めて感じた一日でした。(濱)



コロナになんか負けないぞ！

コロナ禍でも各地区で工夫をして様々なイベントを実施しています。

六ツ川地区

「地域環境と子どもたちを考えるつどい」

7月3日(土)午後1時より、例年六ツ川地区青少年指導員協議会が主催で行う「地域環境と子どもたちを考えるつどい」が開催されました。このつどいは、地域の青少年の環境を考えるため、続けている事業で、今年で31回目になります。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年は感染症対策を十分にしたうえで、後半の意見交換会を無くし実施されました。

今年のテーマは、近年問題となっている「性差別、ジェンダーについて」をNPO法人SHIP代表の星野慎二様より講演をいただきました。

内容は、多様性を認め、自分らしく生きられる社会づくりとして、性的マイノリティーに対する対応や、社会意識、環境などについて詳しくお話いただきました。お話を聞いて、私たちにまだまだ分からないことがたくさんあり、今後は、どのように対応していくかを考えさせられました。

(大川)



南永田山王台地区

「南永田の歴史と坂道ウォーキング」

南永田山王台連合町内会の長年の取り組みにより、27の道や坂道に愛称がつけました。それぞれの場所に愛称を書いたプレートと小学生が書いたイラストを設置したこともあり、11月20日(土)に地区内を歩きながら永田の歴史を学ぶ永田地域ケアプラザの主催事業「南永田の歴史と坂道ウォーキング」に保健活動推進員と一緒にコース案内役として参画しました。

地区内外の住民約30人が参加し、2グループに分かれ、坂道の多い地区内をゆっくりと歩きながら、見通しの良いところでは景色を楽しみ、また「登り窯」や「西光院・白幡神社」等の歴史建造物のある場所では、ガイドの説明を聞き「南永田の歴史」の知識も深めることができました。

道の愛称をつけたことで、自分が住む地域に新たな魅力を発見し、愛着を持って暮らせる住民が増え、地区内をウォーキングするきっかけにもなり、健康増進にも役立つ素敵な企画となりました。

(山田)



永田みなみ台地区

「永田星空観察会」

全国で月食が見られた11月19日(金)に永田地域ケアプラザ、北永田・南永田山王台・永田みなみ台各地区の青少年指導員、永田台小学校学校応援隊「おやじ&フェス部」と同学校・地域コーディネーターが協力して「永田星空観察会」が同ケアプラザにて開催されました。

コロナウイルス感染予防のために天体望遠鏡にスマートフォンを接続して非接触で画面を観る観察方法にするとともに、テーマごとに分かれて交代しながらおこないました。

当日は40名の児童、保護者に参加いただき、月、金星、木星、土星を観測、ミニ天体講座を開いたり、上空を国際宇宙ステーションが通過する幸運に恵まれたりと時間が経つのも忘れるほど盛り上がりしました。参加いただいた児童、保護者より「月のクレーターが大きくみえた」「土星に輪が本当にあった」「月食が神秘的でした」「地元で星空観察ができて親子で楽しめました」など感想をいただき、たいへん好評でした。

(伊東)



別所地区

「ブルーベリーがり」

昨年のみかんがりに引き続いて企画した「ブルーベリーがり」、行き先は愛川町にある「愛農園 ミマセブルーベリーファーム」です。

29人乗りのマイクロバスに約1/3の10人乗車、車での移動時間は1時間程度、常時換気、マスク着用、乗車の前後に体温を測定、適宜手指の消毒などの感染防止対策を徹底し、お弁当は感染リスクが高いので午前中だけの企画です。

7月31日(土)8時30分にマイクロバスに乗車、車内では地名クイズなどに興じながら10時前にはブルーベリー園に到着。約3000坪の広い園内には何種類ものブルーベリーがあり「こっこのほうが甘いよ」「この木の実の香りがいいなあ」など、おなか一杯食べながら、気に入った果実を大きなカップにたっぷり収穫しました。

ブルーベリーのあとはサプライズのグレイプフルーツ収穫体験をさせていただき、子どもも大人も大喜びでした。

(黒住)



北永田地区

「北永田ふるさとふれあいまつり」

10月10日(日)に予定しておりました北永田ふるさとふれあいまつりは、残念ながら中止が決定いたしました。緊急事態宣言下、関係各方面に準備依頼をしておりました。依頼の一つ、展示パネルを永田中学校の美術部の皆さんが制作してくださいました。次回、お祭りの目玉になること間違いのない素晴らしい大作です。

今回はお披露目出来ず大変に残念ですが助郷保存会で次回開催のため大切に保管することとなります。

(加藤)



小学校児童支援専任教諭 中学校生徒指導専任教諭

等との打合せ会(分散開催)

例年であれば南区内の小学校児童支援専任の先生、中学校生徒指導専任の先生、また担当の校長先生や指導主事などの皆様と青少年指導員が一堂に会して、学校や地域の行事、青少年指導員の事業などについて情報交換を行い互いに面識を深め合う機会ですが、COVID-19の感染収束の見通しが見えない中、昨年度に引き続き今年度も区全体での開催は行わないことになり、8つの中学校区単位で日程や会場を調整し、分散で開催することとなりました。

南が丘中学校区では7月5日(月)の18時～19時に南が丘中学校正門前にある「別所コミュニティハウス」の集会室で開催いたしました。南ヶ丘中学校からは校長先生と生徒指導専任の先生、別所小学校からは児童指導専任の先生をお迎えし、別所地区から4名、六ッ川地区から3名の青少年指導員が参加しました。

自己紹介の後、今年度は桜まつり、南まつり、キャンプが中止であること、ボイス・オブ・ユースは式典の実施は不確定だけれど作文募集と審査、表彰は行う計画など南区全体の事業の説明および協力をお願いしました。

別所、六ッ川両地区とも、盆踊り、ふれあいまつり、健民祭などの行事は中止ですが、青少年指導員が中心となつての別所地区でのブルーベリーがり、みかんがり、六ッ川地区でのウオークラリーなどは感染予防対策に配慮しながら計画をすすめている旨報告がありました。

学校行事についても延期や中止、無観客での開催などの現状の説明がありました。

7月に計画されている全市一斉パトロールについては7月24日(土)に南が丘中正門前に集合し、例年通り実施することが確認されました。

そのほか、最近の中学生はSNSで連絡を取り合って遊ぶので、大人が予想できないような集団、場所で集まっていることなど有意義な情報交換ができました。

(黒住)



編集後記

東京2020オリンピック・パラリンピックも終わり、猛暑日、豪雨災害が多発し新型コロナウイルス感染が収まらない中、この63号の編集作業をしている広報部会で「みなさんの自治会町内会では活動はどうしているの?」とコロナ禍での過ごし方が気になるようで、動くきっかけを模索していました。

そこで本号では「コロナになんか負けないぞ」と題してコロナ禍での地区の活動を紙面に入れました。みなさんの地域での活動の参考になれば幸いです。

数少ない広報部会の作業を補うために、広報部員間で情報の共有を目的に「グループLINE」を立ち上げて、画像を駆使してアイデアを出し合い、紙面作りをしています。

(青木)

編集委員



■ 広報部会長

六ッ川地区	▶	大川 博
お三の宮地区	▶	岡田 圭司
太田地区	▶	稲垣 恵子
太田東部地区	▶	今井 馨太郎
寿東部地区	▶	築地 徹郎
中村地区	▶	平野 直子
蒔田地区	▶	上妻 慎子
井土ヶ谷地区	▶	門井 由美子
南永田・山王台地区	▶	山田 智久
北永田地区	▶	加藤 春哉
永田みなみ台地区	▶	伊東 由和
六ッ川大池地区	▶	青木 慶一
本大岡地区	▶	内田 正幸
大岡地区	▶	濱 哲夫
別所地区	▶	黒住 直

■ 広報部会担当役員

六ッ川大池地区会長	▶	伊東 俊一
-----------	---	-------